

大綱5 やすらぎある安全なまちづくりの推進

番号	受理月日	受理方法	担当課	件名	提言の要旨	反映状況（要旨）	反映区分
1	6月14日	市民提言箱	建設課	被災跡地に係る大船渡湾につながる河川・水路の拡幅について	河川の氾濫を防ぐため、河川や水路を拡幅してほしい。	大船渡湾につながる河川については、岩手県の管理する河川（二級河川7本）が総延長で約27km、大船渡市の管理する河川（準用河川5本、普通河川174本、都市下水路6本）が総延長で約195kmあります。河川の拡幅整備をすると、多額の費用（測量調査設計費、用地費、補償費、工事費等）が必要になることから、市では各河川の状況や緊急性、重要性等を考慮して順次整備を行っております。全ての河川を整備することは困難であることから、随時河川パトロールを実施し、川の流れの阻害要因の把握、その対応等適切な維持・管理に努めて参ります。 なお、県が管理している河川については、その旨大船渡土木センターへ連絡いたします。	D
2	7月6日	市政モニター	防災管理室	中赤崎・山口地区における避難所の変更について	中赤崎・山口地区における避難所は、漁村センターになっているが、津波の被害により孤立する恐れがある。避難所を孤立しない場所に変更できないか、検討してほしい。	赤崎町の漁村センターは、大規模災害が発生した際の第二避難所（津波などの災害で避難した住民の滞在場所となる施設）に指定されていますが、東日本大震災では、隣接する公園まで津波が押し寄せ、周辺は津波によって壊滅的な被害を受け、道路もがれきりによって通行が不可能となり、一時孤立しました。 現在、震災で全壊した赤崎小学校を、平成29年1月の開校に向けて赤崎町宇山口地内の高台に移転し整備を進めています。赤崎小学校は漁村センターよりも高い場所となっており、太陽光発電設備と蓄電設備の設置による停電時の電源の確保、雨水貯留槽の設置によるトイレ用水の確保など、災害発生時の対策にも配慮したものとなっています。また、隣接して県道が整備される予定のため孤立化を防ぐことができることから、開校後は漁村センターの第二避難所の指定を見直して、赤崎小学校（屋内体育館）に変更することで検討しています。	B
3	9月16日	手紙	企業立地港湾課	BRTの通行道への信号機の設置について	BRTと交差する大船渡町の2本の道路について、事故が起こらないよう信号機を設置してほしい。	ご指摘のJR大船渡線BRTと都市計画道路野々田明神前線及び都市計画道路茶屋前線との交差点につきましては、現在、信号機の設置がなく、規制標識により車は一時停止のうえ走行している状況となっております。 これらの市道につきましては、現在、大船渡駅周辺地区土地区画整理事業において、都市計画道路の整備工事を実施しており、野々田明神前線は平成30年4月、茶屋前線は平成31年4月に完成する予定であり、ご提言のありましたJR大船渡線BRTとの交差点につきましては、道路の完成に合わせて信号機を設置する方向で、岩手県公安委員会及び大船渡警察署と協議を行っております。 なお、交差点における事故を未然に防止するために、規制標識、一時停止などの電光掲示板の設置、路面表示、歩行者通路の確保など、安全通行の確保に努めております。	B

番号	受理月日	受理方法	担当課	件名	提言の要旨	反映状況（要旨）	反映区分
4	10月25日	市政モニター	防災管理室	大船渡駅周辺地域における防災対策について	津波災害に備え、大船渡駅周辺地区における、避難行動マニュアルなどを策定してほしい。	<p>当市では、東日本大震災を教訓に再び津波が来襲しても被害の最小化を図る減災の考え方にに基づき、防潮堤の整備や災害危険区域の指定による建築制限など、多重防災型の津波対策を進めています。</p> <p>そのような中で、津波による人的被害を軽減するためには迅速な避難行動が最も重要であると考えていることから、早期の避難行動がとれるように正確な情報をより早く確実に伝えるため、情報伝達手段の多様化及び確実性の向上を図るとともに、避難誘導標識などの設置を進めています。</p> <p>当市の地形の特性として、広大な平野が続く自治体とは違い、沿岸部のほとんどの場所からそう遠くなく安全な山側の高台に到達できることから、津波のおそれがある場合には山側に向かって高台に避難していただき、そこにも危険が迫った場合には更に高いところに避難していただくことを基本としていますので、大船渡駅周辺地区においても、津波から命を守るためには、強い揺れや長いゆっくりとした揺れを感じたとき、あるいは津波警報等を見聞きしたときは、より早く高台に避難することが重要と考えています。</p>	B
5	10月27日	Eメール	市民環境課	草刈作業における安全対策について	道路や個人の敷地内などで安全対策をせずに草刈作業をしている姿を見かけるので、安全ルールの徹底について広報等で知らせてほしい。	<p>公共工事については草刈作業時の安全管理の徹底を依頼しておりますが、今後発注分についても改めて指導を行うこととします。</p> <p>また、個人での作業における安全管理については、草刈作業が実施される時期に合わせて、広報等で周知し、事故の未然防止に努めてまいります。</p>	B
6	10月28日	市政モニター	企画調整課	公共施設への太陽光発電設備の設置について	災害時に備え、公共施設に太陽光発電設備を設置してはどうか。	<p>本市におきましては、災害時における照明や通信機器、暖房、照明などの必要最小限の電力を確保するため、防災拠点となる公共施設に対し、太陽光発電設備および蓄電池を次のとおり設置しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度…吉浜地域振興出張所、市役所街路灯(5基)</li> <li>・平成25年度…市役所街路灯(5基)</li> <li>・平成27年度…大船渡地区公民館、大船渡市民交流館カメラホール、大船渡中学校、末崎中学校</li> <li>・平成28年度…赤崎小学校、越喜来小学校、赤崎中学校、防災センター(防災センターは太陽光発電設備のみ)</li> </ul> <p>また、市役所本庁舎および防災センターにつきましては、非常用発電装置を整備し、安定的な電源の確保に努めています。</p> <p>今後におきましても、関係機関などと協議しながら、公共施設などへの太陽光発電設備の設置に向けて検討してまいります。</p>	A
7	12月5日	Eメール	防災管理室	防災無線放送内容の市ホームページへの掲載について	防災無線で放送した内容について、ツイッターだけでなく、市のホームページにも掲載してはどうか。	<p>市では、災害などの情報伝達手段として、防災行政無線だけでなく、ツイッター、SNS（地域のきずな）など、様々な方法で市民の皆さんへ情報提供を行っています。</p> <p>防災行政無線のデジタル化に対応する際に、ツイッターやSNS（地域のきずな）などと連携させ、防災行政無線の放送と同時に配信されるように整備を行い、これまで広報などで市民の皆さんへお知らせしてきました。</p> <p>ツイッターは、情報の迅速な伝達が可能であり、パソコンや携帯電話などで確認できるため、情報発信のためには重要なものであり、市のホームページの新着情報への掲載よりも早く市民の皆さんへの情報提供が可能であるため有効であると考えています。</p> <p>なお、SNS（地域のきずな）についても、サービスを運営しているNPO法人防災・市民メディア推進協議会に申請し登録しただけであれば、防災行政無線の放送内容がパソコンや携帯電話等で確認が可能であり、災害による危険が予想されるなど緊急度の高い場合には、放送に合わせてメールが送信されます。</p>	C

番号	受理月日	受理方法	担当課	件名	提言の要旨	反映状況（要旨）	反映区分
8	1月5日	Eメール	市民環境課	高齢者の自動車運転免許の返還について	高齢者の自動車運転免許の返還が盛んに行われるように、返還時にバスなどの公共交通機関の助成券を配布できないか。	<p>現在、市内では、自動車運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の発行を受けた65歳以上の方に対して、三陸鉄道における運賃の半額割引や、岩手県タクシー協会における料金の1割引きなどの優遇制度が設けられています。</p> <p>また、市では、交通不便地域の高齢者を対象としたタクシーチケットの配布や日頃市地区におけるデマンド交通の運行、三陸町綾里・越喜来地区における患者輸送バス一般乗車などの実証実験や各種取組を行い、今後の効果的な公共交通のあり方を検討しているところです。</p> <p>自動車運転免許証を返納した高齢者に対する助成につきましては、これらの実証実験の結果を踏まえた上で、他の自治体の動向も参考にしながら、どのような支援策が考えられるか、関係機関等と連携し、検討して参りたいと考えております。</p>	C